



空き店舗を有効活用して開催された「まちなかひなまつり」。つるしびな作り体験も人気を集めた

商店街彩るひなまつり 空き店舗を活用し開催

町商工会女性部（近藤とし子部長、部員59人）主催の「まちなかひなまつり」は2月28日から3月3日までの4日間、岩手銀行隣接の空き店舗（新町）を活用して開催され、町内外から来場した約300人が桃の節句を楽しみました。部員が所有するひな人形とともに、手作りの色鮮やかなつるしびなが飾られ、店内は華やかな雰囲気になりました。来場者はつるしびな作りの体験をしたり甘酒を味わいながら、ゆっくりとくつろぎながら鑑賞に浸りました。近藤部長は「岩手日報で紹介されたこともあり盛岡市や宮古市など町外からも多くの来場者があった。今後は商店街とも連携した取り組みを行いたい」と意気込みます。



梅津校長から卒業証書を受け取る卒業生

進学・就職100%を達成 葛巻高校37人が巣立つ

葛巻高校（梅津久仁宏校長、生徒122人）の第45回卒業式は3月1日、同校体育館で行われ、37人が新しい進路に向けて学舎を巣立ちました。梅津校長が卒業生一人一人に卒業証書を手渡し、「多くの学びと経験を積み、東北の復興と発展に尽力してくれることを期待します」とはなむけの言葉を贈り、鈴木重男町長が「一度は町を離れても、将来は葛巻に帰り活躍することを選択肢してほしい」と祝辞を述べました。在校生を代表して三澤遼さん（2年）が送辞、卒業生を代表して遠藤舞さんが答辞を述べました。今年度の卒業生も進学、就職とも100%を達成しました。

春呼ぶ茶屋場えんぶり 町内7カ所で伝統の舞

茶屋場えんぶり保存会（東春三会長・会員25人）による旧暦の小正月行事「門打ち」が3月8日、星野地区や町中心部など7カ所で行われました。農作業で活躍した馬の頭を象徴化した華やかな「烏帽子」をかぶり、田をならすときに用いる農具「えぶり」を持って舞うのが特徴。烏帽子をかぶった踊り手3人による「舞込み」は、田植えなどの動作を表現。五穀豊穡を願い勇壮に舞い踊りました。このほか祝舞の「松の舞」や「笠づくし」、「大黒舞」なども披露され大勢の観衆を魅了しました。同会の向川原大和君（葛巻小3年）は「家族で参加しているから楽しい。大人になっても続けたい」と笑顔を見せました。



華やかな烏帽子をかぶり、田植えなどの動作を勇壮に表現した「舞込み」

新婚生活を支援します 7組にサポート金交付

3月6日、新婚ライフサポート金の交付式が役場で行われ、新婚7組16人が出席しました。今年度生まれた赤ちゃんも出席し、和やかな雰囲気の中で、鈴木重男町長からそれぞれの世帯にサポート金（くずまき商品券10万円分）が贈られました。鈴木重男町長は「さらに元気なまちづくりを進めるため、皆さんの活躍に期待します。町独自のさまざまな支援策について情報発信もお願いしたい」とあいさつしました。昨年10月に結婚した浦子内の波紫孝平さん(34)、香菜恵さん(32)夫妻は「本当にありがたい。ミルクなど子育てのために大切にに使わせていただきます」と感謝しました。



鈴木町長からサポート金を受け取る新婚家族

若返りの健康法を学ぶ 葛巻福祉大学の修了式

葛巻福祉大学葛巻地区（中田直雅学長、受講生186人）の修了式が2月26日、総合センターで開催され、同地区の7学級から受講生65人が出席しました。修了式前に最終教室が行われ、㈱マツムラ健康館（盛岡市）の松村諭代表が「10歳若返る健康法」と題して講話。松村さんは健康の結論として「運動習慣を身に付け、みそや酵素玄米などの酵素食品を摂取し、野菜を優先して食べましょう」とユーモアを交えてアドバイスしました。式では中田学長が「これまでの経験や知恵を子どもたちに伝えてほしい」と式辞を述べ、修了生を代表して田代松寿会長の服部兼太郎さん(87)が修了証書を受け取りました。



ユーモアを交えて健康法をアドバイスする松村さん④の講話に会場は笑顔に包まれた



講師の本宮さんを先頭にランニングする中学生たち。走りの基本動作や姿勢、呼吸法などを学んだ

長距離走の基本を学ぶ 中学生の陸上教室開催

NPO法人町体育協会スポーツクラブ主催の中学生陸上（中・長距離）教室は2月から3月まで全4回行われ、第80回東京箱根往復大学駅伝で復路8区を力走し、駒沢大学の3連覇に貢献した本宮隆良さん（31歳、町職員）が講師を務めました。3月21日、3回目の教室が総合運動公園で行われ、町内の中学生34人が参加。1周530mの野球場周回コースを10周以上走り、レース後半にスピードを上げていけるトレーニングなどを行いました。河原烈士さん（葛巻中3年）は「とても参考になった。今月19日の盛岡市内一周継走大会で成果を出したい」と決意を新たにしました。